

**質問** 今年四月に実施された全国学力テストにおいて、本市の児童生徒の学力についてどのようなように分析しているか。この学力テストでは、ただ単に学力のみを調査するのではなく、児童生徒の家庭での生活態度等まで調査している点には驚いた。本市としては、これらを踏まえ、児童生徒の学力向上策を今後どのように進めるのか。

**答弁** 小学校は、国語・算数ともに県の平均正答率を全て上回っていた。中学校は、国語も算数も県の平均正答率と同等であり、本市の小・中学校とも学力は劣っていない。また、国の調査結果の分析によると、基礎的な知識に比べて、その知識を活用する能力が低いという結果が出ており、本市も同じ傾向だった。また、学習状況調査も行われているが、基本的な生活習慣と学力の相関関係は非常に深いものがあると考えられる。これらの結果を受け、各学校には児童生徒に知識、技能を活用する力を身につけさせる必要がある。授業の改善に努めるよう指導していかねばならない。また、基本的な生活習慣の確立を図るため、家庭と連携した取組を進めたい。

## 安心子育て・薩摩川内市宣言について



川添 公貴

**質問** 新しい行政課題として、保育園・幼稚園の無料化、もしくは全世帯一律低額料金化、さらに、中学校三年生までの医療費自己負担の無料化を検討する考えはないか。市民・子育て世代の経費を軽減する事で、ゆとりある子育て、また、少子化対策になると考える。更に、若年人口も増えると考ええる。また、私立幼稚園奨励金の支払方法の見直しを検討できないか。

**答弁** 安心子育てのまちづくりの考え方については同感である。本年四月からようやく三歳児未満についての医療費の無料化を実施したばかりであり、実際にそうなるには難しい問題がある。しかしながら、平成二十一年度に見直す薩摩川内市次世代育成支援対策地域行動計画に基づき、財政状況を勘案しながら、子育てしやすいように、少しでも少子化対策の一環としてつながるような方向性を見出し、関係は、研究させていただきたい。

と思う。少子化対策の一環として、少しでも他市のまちと違った子育て支援、少子化対策の事業施策について、十分検討して参りたい。



## 上甌の湧水対策について



和田 岸夫

**質問** 上甌島は山が浅く、保水力が弱い為、今年みたいに秋以降雨が少なく、水不足が深刻な問題となる。毎日節水を呼び掛けているが限界がある。雨頼みではなく、緊急の対策が必要ではないか。また、三年後には上甌町の簡易水道が一本につながる事から、長期的観点に立ち、抜本的な対策が必

要と思うが、市長の見解を伺う。

**答弁** 緊急の対策は、利用可能な河川水の活用や浅井戸の試掘等の実施により水源を確保し、断水にならないように努めたい。また、長期的な観点からの対策は、里地区から簡易水道を結び、上甌島全体での有効な水の運用ができないか、水道事業の統合などを含めて検討するなど抜本的な対策を講じる必要があると考える。

## 後期高齢者医療制度について



井上 勝博

**質問** ①保険料を安くするために県へ財政支援を求めつつもりはないか。②高齢者の滞納者から保険証を取り上げるべきではないか。③七十歳から七十四歳までの医療費窓口負担が二割から一割になる。市独自の助成制度をつくって負担を増やさないようにできないか。

**答弁** ①十一月月上旬に、保険事業に対する補助制度の創設について、県知事への要望を行った。②滞納者については、納税相談等をして